

第15回アルコセミナー

< 開催日 7月22日(木) >

■会 場 あのつピア (中勢北部サイエンスシティ)
津市あのつ台4丁目6番地1 (地図裏面参照)

■開催内容

【Aコース】

「^{うま}美し国おこし・三重」

三重県政策部

講師 理事 藤本 和弘

時間 13:00～13:50

【Bコース】

「緑化と獣害防止対策について」

国土環境緑化協会

講師 佐伯 忠寛

時間 14:00～14:50

【Cコース】

「プレストネット工法(法面補強対策工)」

プレストネット工法協会

講師 木越 正司

時間 15:00～15:50

【Dコース】

「自然環境を守る最適な新基礎工法

～ピンファウンデーション工法～」

株式会社ラスコジャパン

講師 賀子 正英

時間 16:00～17:00

※お申し込みはE-mailまたはFAXにてお願い致します。

※技術者継続教育(CPD)参加証発行(3.5H×0.5)

※参加費は無料です。

《お申し込み期限 7月16日(金)》

アルコ株式会社 (担当:青木・駒田)

〒514-0823 津市半田160番地

TEL:059-213-8811/FAX:059-213-8880

E-mail:komada@alcoinc.co.jp

《FAXにてお申し込みの場合は、下記をご記入の上、ご返信ください。》

貴社名		(希望コースに○印)	(資料のみ希望)
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			

案内図



〔あのとピア〕 〒514-0131 津市あのと台4丁目6番地1
TEL 059-236-3104

緑化と獣害防止対策工法

近年における獣害の拡大と問題点

◇ シカの生息数の増化と生息域の拡大に伴い獣害被害が深刻化

- 1) 道路： のり面緑化の被害
- 2) 林業： 山腹・のり面緑化の被害、植栽木の食害、成木の剥皮害
- 3) 農業： 農作物・果樹の食害

施工3ヵ月後



施工1年後

緑化されていたのり面も、獣害により荒廃してしまう。

◇ 公共工事における山腹緑化・のり面緑化の問題点

- 1) 食害と踏み荒らしにより、のり面保護機能が低下
- 2) 平成19年度会計検査にてシカ害対策が不適切との指摘

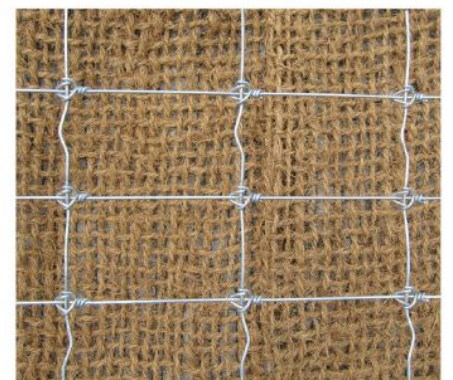
日植の獣害防止対策工法 & 資材

アニマルガード 工法

のり面荒廃の原因は、食害と踏み荒らし。
新発想の構造体と高い技術力(特許取得)で、
のり面の植生を守ることができます。



ネット台座「ハイトキーパー」



格子型結束金網「スカイクロスネット」

目合いが広がらない強靱な「スカイクロスネット」と
のり面に設置するスカイクロスネットを一定の高さでキープする「ハイトキーパー」で
植生をしっかりと守ります。

植物の
生長点・根を
守る

シカなどがのり面に侵入して、導入した植生を根こそぎ食べてしまうことを防ぎます。

どんな
植生マットにも
対応

植生マットやシートの施工後に合わせて設置できますので効率的です。

目合いが
広がらない
特殊金網

ネットの交点がずれにくい強靱な構造のため、シカが首や角を入れても目合いが広がりにません。

日植だけの
特許技術

「アニマルガード工法」は、日植の特許技術です。(特許第 3793524 号、特許第 3940422 号)

注) 吹付工などの植生工と併用する場合は施工時に基材を傷めることがありますので、植生マット・シート工との併用が適しています。

日植の
獣害防止柵

植生を守るには、万全な獣害防止柵を設置すること。
斜面での設置が容易な『軽量メッシュ支柱』と
獣害専用の『特殊金網』の採用で、
シカなどの侵入を防ぎます。



軽量メッシュ支柱

支柱は軽量かつ強度のあるメッシュ状で、施工性に優れます。不安定な斜面でも安定した打設が可能となり、高い耐久性と耐候性を実現します。



格子型結束金網「タイトクロス」

ネットの交点がずれるのを防ぐ編織方法タイトクロスを採用。交点の横ずれは約 600 N の荷重に耐えられ、交点が強固に固定されているため、シカが首や角などを入れても目合いが広がることはありません。

斜面での
運搬・作業が
容易

斜面でも施工(打設)しやすい
軽量メッシュ状支柱を採用して
います。

潜り込みを
防止

地際は折り返してシカやウサ
ギの潜り込みを防ぎます。

優れた
耐久性と耐候性
の素材を採用

着色塗装により耐候性を向上さ
せているため、一般の3種メッ
キの1.5~2倍の耐久年数を誇

幼齢木用資材
レイスターガード

環境に優しい生分解素材を使用。
伸縮性と通気性に優れた
新発想の特殊ネットです。
大切な幼齢木をシカなどの食害から守ります。



成木用資材
レイスター
プロテックス

唐辛子成分(カプサイシン)配合。
植物から生まれた鳥獣害用資材、
迷惑動物対策に強い味方の登場です!!



植物由来の
生分解素材を
採用



シカなどの
食害から
樹皮を守る

成長を妨げない
優れた伸縮性

長期間持続する
唐辛子効果
(カプサイシン)

生分解素材で
環境にやさしい



幼齢木に
優しい伸縮性と
通気性

超軽量
柔軟性に富み
施工性も抜群



幼齢木を守る特殊ネット

唐辛子エキス(カプサイシン)効果とは?

動物が
樹木に
近づかない

近づく
「痛い」感
動物に与える

人には無害、
動物にも
悪影響なし



レイスタープロテックス



国土環境緑化協会 中部支部

事務局: 日本植生(株)名古屋営業所内

〒465-0026 愛知県名古屋市名東区藤森2-18

TEL 052-773-4891 FAX 052-773-5105



アルコ株式会社

〒514-0823 三重県津市半田160番地

TEL 059-213-8811 FAX 059-213-8880

法面補強対策工

プレストネット工法

国土交通省 新技術活用登録 No. KK-040047-V 少実績優良技術



『先行して地山に抵抗力を与え、初期崩壊を未然に
防止することで災害発生を防ぎ自然環境を保全する工法』

プレストネット工法協会
事務局 株式会社相建エンジニアリング

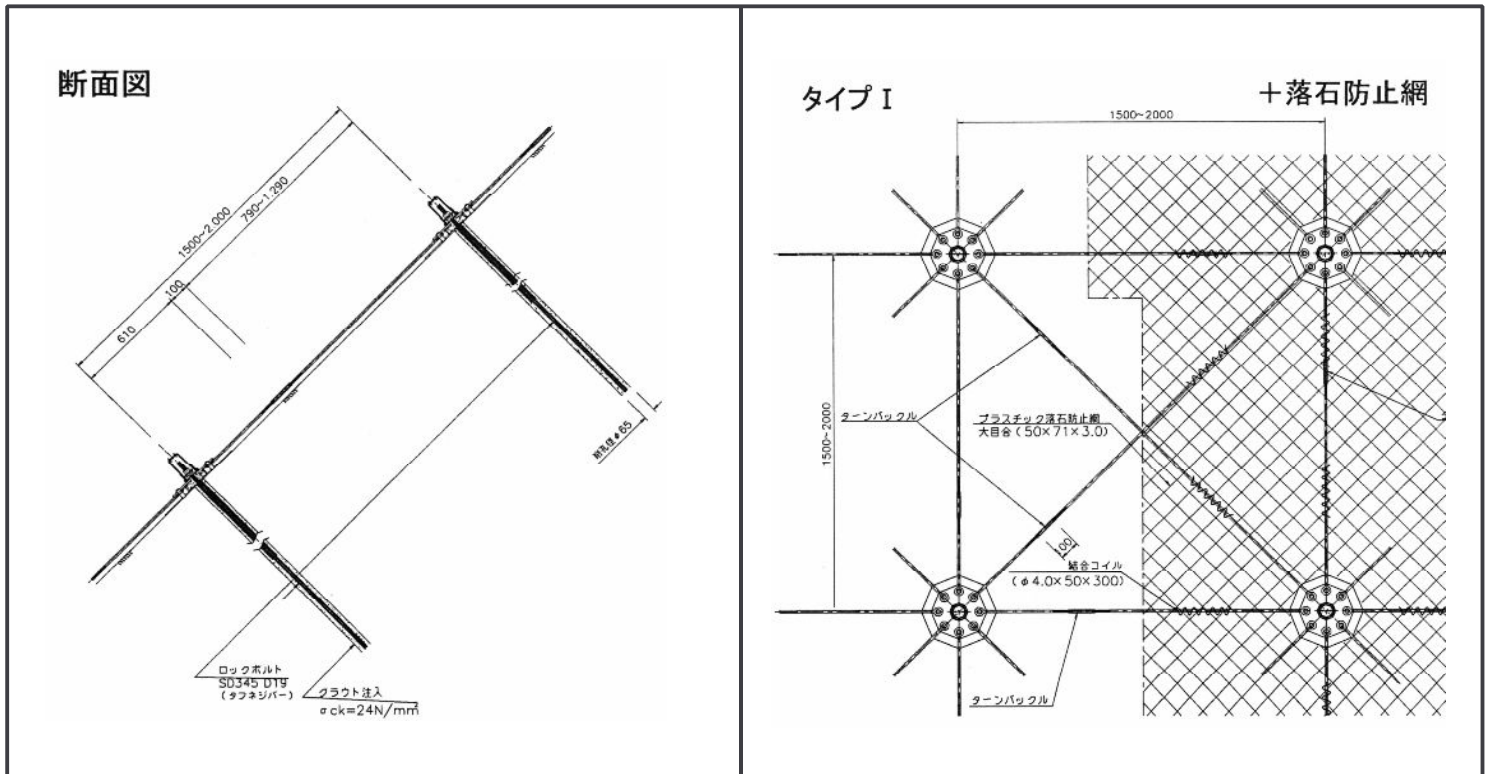
〒553-0003 大阪市福島区福島1-5-16
TEL:06-6455-8711 FAX:06-6455-8661



アルコ株式会社

〒514-0004 三重県津市半田160番地
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880

プレストネット工法 標準構造図



従来工法との比較

項目	プレストネット工法 基本型 タイプ I	従来工法 F-300 2.00×2.00
抑止機能	先行荷重(押さえ)型	待ち受け型
構造的性	同等	同等
材料	鋼製(亜鉛めっき仕様)	吹付モルタル、鉄筋他
重量	軽い	重い
作業環境	良い	吹付機の粉塵がある
逆巻き工法の場合	容易	工程に影響を与える
使用機械(ロックボルトは別途)	必要なし	吹付機その他必要
法面形状への適用性	従来工法より劣る	良い
法面種別	自然斜面(立木あり可能) 切土法面	自然斜面 切土法面
熟練工への依存度	法面工	法面工、特殊作業員、鉄筋工
景観	緑化で枠が隠れる	緑化で枠を完全に隠せない
施工工程	33%短縮	—

PIN FOUNDATION

ピンファウンデーション工法は、木道・デッキ・四阿等小規模構造物を対象とした簡易基礎工法です。小口径のスチールピンを地中にある角度をもって打込むことによって構造物の支柱に必要な支持力を持たせる工法です。日本国内においては、1999年に初めて施工して以来、今日までに300件を超える施工実績があり、環境にやさしい基礎工法として各方面より評価をいただいております。

【特徴】



- ・軽量なので人力で運搬できる
- ・重機を必要とせず、ハンディタイプの電動工具だけで施工できる
- ・地盤の掘削、埋め戻しが不要である
- ・施工が簡単なので工期短縮ができる
- ・自然環境にあたる影響が非常に少ない

【アプリケーション】

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 重機が進入できない場所 | <input type="checkbox"/> 水の抜けない場所 |
| <input type="checkbox"/> 自然環境を守りたい場所 | <input type="checkbox"/> 砂地で通常基礎では設置の難しい場所 |
| <input type="checkbox"/> 貴重な動植物が棲息している場所 | <input type="checkbox"/> 重要な史跡や大切な樹木のある場所 |
| <input type="checkbox"/> 急斜面で通常基礎では設置の難しい場所 | <input type="checkbox"/> 地盤の凍結深度が深い場所 |
| <input type="checkbox"/> 湿地帯で通常基礎では設置の難しい場所 | <input type="checkbox"/> 他の基礎工法では難しい場所 |



株式会社ラスコジャパン

本社・工場
〒673-0451 兵庫県三木市別所町近藤190-1
TEL:03-3561-1681 FAX:03-3561-1683

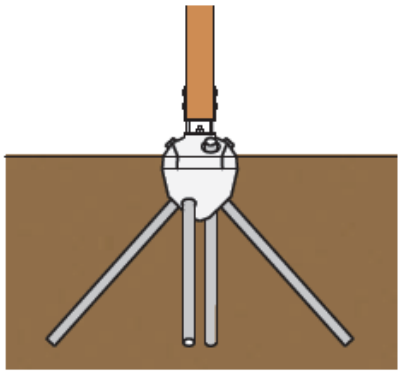
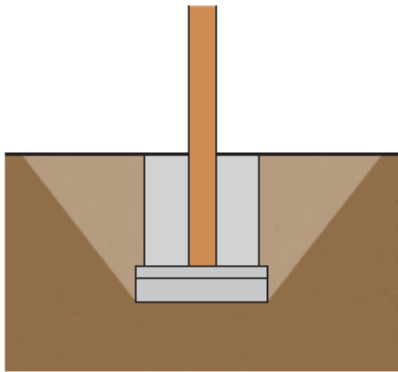


アルコ株式会社

〒514-0823 三重県津市半田160番地
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880

【在来工法との比較】

従来のコンクリート基礎工法は、地面を大きく掘削し、重機で基礎ブロックを搬入するのが一般的ですが、このピンファウンデーション工法は、重機を使用せず、地盤面の大きな掘削もありません。アプリケーションとしては、重機が搬入できない場所や大切な自然環境を守りたい場所等の基礎に最適です。また、在来工法では設置できないような軟弱地盤（換算N値 0.5～2.0）にも対応可能です。

	ピンファウンデーション工法	在来工法
構造図		
施工手順	掘削 … 定着ブロックを置くだけ ↓ 小さなショベルのみ使用 運搬 … 定着ブロック、打込みピンともに軽量 ↓ 人力で運搬が可能 設置 … 電動工具でピンを打込むだけ ↓ 埋め戻し … 不要	掘削 … 掘削の土量が多い ↓ バックホウが必要 運搬 … コンクリートブロックが重い (□500×H500 mmで約280 kg) ↓ 重機による運搬が必要 設置 … 掘削底面の転圧が必要 ↓ 吊込み用の重機が必要 埋め戻し … 埋め戻し土量が多い ↓ バックホウが必要

※ピンファウンデーション工法は、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録されています。

【ピンファウンデーション工法の種類】

ピンファウンデーション工法には、ピンを2本打込むスピードパイル（SP）形式とピンを4本打込むダイヤモンドピア形式の2種類があります。スピードパイル形式は低床の構造物に、ダイヤモンドピア形式は高床の構造物に適しています。